

「猪苗代湖・安積疏水・安積開拓」日本遺産認定記念・「オランダ」ホストタウン登録記念・JA福島さくら合併記念

KORIYAMA EXPO 2016

こおりやま 産業博

Innovation To The Next ~拓こう 未来への トビラ~

実績報告書

こおりやま産業博 -KORIYAMA EXPO2016- 事業報告書

I. 事業概要

1. 名称

こおりやま産業博 -KORIYAMA EXPO 2016-

2. 開催主旨

“Innovation To The Next ～拓こう 未来への トビラ～”をテーマに、新たなビジネスの創造に向けて来場者が未来を「見て×体験できる」産業見本市を目指す。郡山市の産学金官の連携を活かし、商×工×農×観光業等を結集させた全市をあげたプロモーションを展開し、安積開拓事業の日本遺産認定記念とオランダホストタウン登録記念と福島さくら農業協同組合 合併記念で開催する。

3. 主催

こおりやま産業博実行委員会

(郡山市・郡山商工会議所・郡山地区商工会広域協議会・福島さくら農業協同組合)

4. 協力

郡山地域テクノポリス推進機構・郡山地域コーディネイター・コミュニティ事業推進協議会 and factory(株)・(有)正月荘・福島トヨペット(株)・日本大学工学部

5. 後援

復興庁・福島県・郡山市教育委員会・福島県商工会議所連合会・(一社) 郡山医師会・郡山市商店街連合会・(公社) 郡山青年会議所・郡山市観光協会・郡山市観光物産振興協会・郡山農業青年会議所・日本貿易振興機構福島貿易情報センター・(公財)郡山コンベンションビューロー・

郡山市特産品づくり推進協議会・郡山地区ハイヤータクシー協同組合・

(一社) 福島県情報産業協会・郡山地域テクノポリス推進協議会・

郡山地域企業戦略研究会・福島県広告業協会・福島県デザイン振興会・

郡山大規模店協会・郡山高度情報化システム研究会・郡山美味しい街づくり

推進協議会・郡山市福島空港活用促進協議会・東日本旅客鉄道(株)郡山駅・

福島交通・福島民報社・福島民友新聞社・福島テレビ・福島中央テレビ・

福島放送・テレビユー福島・ラジオ福島・ふくしまFM・

福島リビング新聞社・街こおりやま社

※35団体・企業【順不同】

II. 開催状況

- 企業内覧会：平成28年10月7日（金）13:00～16:00
- 一般公開：8日（土）10:00～16:00
9日（日）10:00～16:00
- 場 所：ビッグパレットふくしま
- 出展者：194社・団体（251コマ）
- 来場者：20,415名（3日間・延べ人数）

開会式



品川市長よりご挨拶



主催者挨拶 須佐会長代行



主催者・来賓によるテープカット

企業内覧会・商談会・名刺交換会

BtoB 企業間取引の促進を目的に、企業内覧会を平日に初開催。

- 参加バイヤー 20社（高島屋・三越・いちい・ネクスコ・鎌倉屋・市内大型店）
- 参加サプライヤー 26社 ■商談数 103件



バイヤーと出展者による商談会を実施！郡山の逸品をPR！！

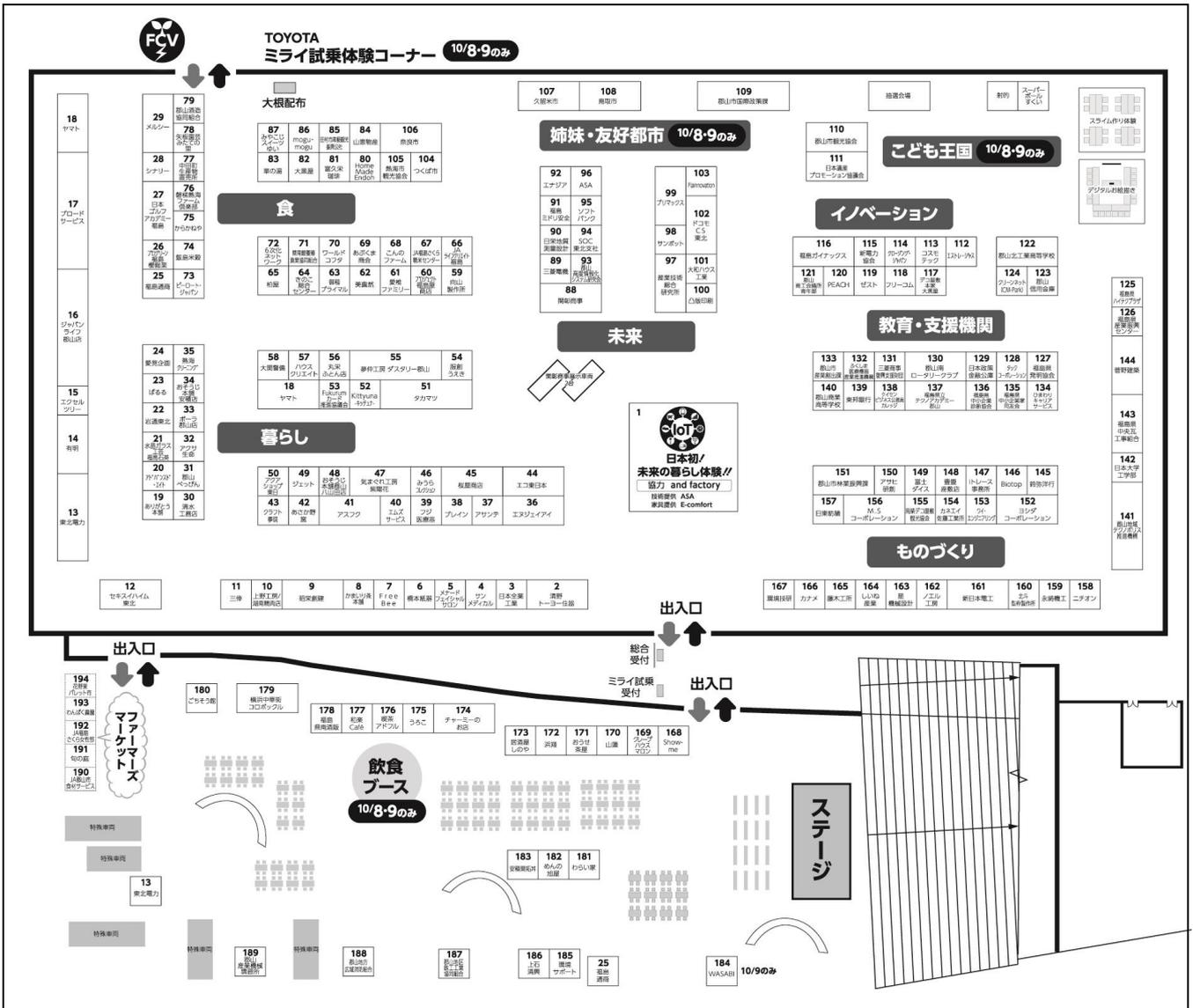


バイヤーと出展者の交流会



出展者代表 富久栄コーヒー中島さん

会場レイアウト



全体風景



会場内の風景



会場外 飲食ブース



お子様にもお越しいただきました

出展者一覧

出展者名	出展No.
あ	
愛晃企画	24
愛椎ファミリー	61
iトレース事務所	147
アクアショップ東日	50
アクサ生命(株) 郡山営業所	32
(有)上石清興	186
(株)ASA	96
安積開拓井販売ブース	183
あさか野窯	42
(株)アサヒ研創	150
(株)アサンテ	37
(株)アスフク	41
熱海クリーニング	35
(一社)熱海市観光協会	105
アドバンスド・エイト(株)	20
(株)あぶくま商会	69
(株)有明	14
(株)ありがとう本舗	19
&and factory(株)	1
飯島米穀(株)	74
居酒屋しのや	173
岩通東北(株)	22
上野工房/湖南精肉店	10
うろこ (伊藤企画)	175
(株)栄楽館ホテル華の湯	83
エクセルツリー(株)	15
(株)エコ東日本	44
S O C(株)東北支社	94
N P O法人 ESTRELLAS	112
(株)エナジア	92
(株)エヌジェイアイ	36
(株)M. Sコーポレーション	156
エムズサービス(株)	40
おうせ茶屋	171
(株)大関警備	58
おそうじ本舗 安積店	34
おそうじ本舗 郡山八山田店	48
か	
和楽Café	177
(株)柏屋	65
(株)カナメ	166
(有)カネエイ佐藤工業所	154
(有)かまもり茶本舗	8
からかねや	75
(株)環境技研	167
(株)環境サポート	185
喫茶 アドフル	176
Kittyuna-キッチュナ-	52
きのご総合センター(株)	64
気まぐれ工房紫陽花	47
清野トーヨー住器(株)	2
(株)クラフト夢現	43
(株)クリーンネット (CM-Park)	124
久留米市	107
クレープハウス マロン	169
(株)クロージング・ジャパン	114
ケイセンビジネス公務員カレッジ	138
県中地方・地域産業6次化ネットワーク	72
県南鯉養殖漁業協同組合	71
郡山高度情報化システム研究会	93
郡山産業機械講習所	189
郡山市観光協会	110
郡山市国際政策課	109
郡山市産業創出課	133
郡山酒造協同組合	79

出展者名	出展No.
郡山商工会議所青年部	121
郡山市林業振興課	151
郡山信用金庫	123
(公財)郡山地域テクノポリス推進機構	141
郡山地区鉄工工業協同組合	187
郡山地方広域消防組合	188
郡山ベっぴん	31
郡山南口・タリークラブ	130
(有)郡山銘菓庵 大黒屋	82
(株)コスモテック	113
こんのファーム	68
さ	
(有)桜屋商店	45
(有)山恵物産	84
(株)三俣	11
サンボット(株)	98
(株)サンメディカル	4
しいね産業(株)	164
(株)JAライフクリエイティブ 郡山営業所	66
(株)JA郡山市食材サービス	190
JA福島さくら女性部	192
JA福島さくら精米センター	67
(株)ジエット	49
シナリー(株)	28
ジャパンライフ(株)郡山店	16
JA福島さくら 農産物直売所 旬の庭	191
(株)BPF ごちそう館	180
昭栄創建(株)	9
Show-me	168
(一社)新電力協会	115
新日本電工(株)環境システム事業部郡山工場	161
菅野建築	144
(株)鈴弥洋行	145
関彰商事(株)	88
セキスイハイム東北(株)	12
(有)ゼスト	119
清水工務店	30
ソフトバンク(株)	95
た	
大和ハウス工業(株) 福島支社	101
高柴デコ屋敷観光協会	155
(株)タカマツ	51
(有)タックコーポレーション	128
(一財)田村市滝根観光振興公社 田村市農産物等処理加工場	85
チャーミーのお店	174
つくば市	104
デコ屋敷 本家 大黒屋	117
(株)東邦銀行	139
東北電力(株)郡山営業所	13
(株)ドコモ C S 東北 福島支店	102
鳥取市	108
凸版印刷(株)	100
な	
永崎機工(株)	159
中田町生産物直売所	77
奈良市	106
日栄地質測量設計(株)	90
(株)ニチオン	158
日東紡績(株)富久山事業センター	157
日本遺産プロモーション協議会	111
日本ゴルフアカデミー 福島	27
日本政策金融公庫 福島支店・郡山支店	129
日本全業工業(株)	3
日本大学工学部	142
ノエル工房	162

出展者名	出展No.
は	
ハウスクリエイト	57
橋本紙器	6
花野果パレット市	194
(有)浜翔	172
(株)ばるる	23
磐梯熱海ファーム倶楽部	76
(株)P E A C H	120
ピーロート・ジャパン(株)郡山営業所	73
(株)Biotop	146
(株)美農然	62
(株)ひまわりキャリアサービス	134
富久栄珈琲	81
(一財)ふくしま医療機器産業推進機構	132
(株)福島ガイナックス	116
(公財)福島県産業振興センター	126
福島県中央瓦工事組合	143
(事業協同組合)福島県中小企業家同友会	135
(一社)福島県中小企業診断協会	136
福島県南酒販(株)	178
福島県ハイテクプラザ	125
(一社)福島県発明協会	127
福島県立郡山北工業高等学校	122
福島県立郡山商業高等学校	140
福島県立テクノアカデミー郡山	137
産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所	97
水晶ガラス工芸 福島石英	21
福島通商(株)	25
福島ミドリ安全(株)	91
(有)服創うえき	54
F u k u r u mカード推進協議会	53
(株)フジ医療器	39
富士ダイス(株)	149
藤木工所	165
(株)フリーコム	118
F r e e B e e	7
プリマックス(株)	99
(株)Plainnovation	103
(株)ブレイン	38
ブロードサービス(株)	17
プログリーン福島(株)櫻総業	26
N P O法人 プロジェクト福島屋商店	60
豊豊座敷店	148
天然酵母to国産小麦のぱんHome Made Endoh	80
ポーラ郡山店	33
(株)北斗型枠製作所	160
(株)星機械設計	163
ま	
丸栄ふとん店	56
御稲プライマル(株)	63
みうらコレクション	46
(公財)三菱商事復興支援財団	131
三菱電機(株)福島支店	89
みやこビスイーツゆい	87
(株)向山製作所	59
(株)夢仲工房	55
メナードフェイシャルサロン郡山富久山店	5
(株)メルシー	29
めんの旭屋	182
m o g u ・ m o g u	86
や	
矢板園芸みたての里	78
(株)ヤマト	18
山蓮	170
横浜中華街 コロボックル	179
(株)ヨシダコーポレーション	152

出展者名	出展No.
わ	
ワールドコフタ(株)	70
ワイ・エンジニアリング(株)	153
(株)WASABI	184
わらい家	181
わんぱく農園	193



特別企画

1. 主催者展示

未来の暮らしを再現した IoT ハウスの展示・体験。

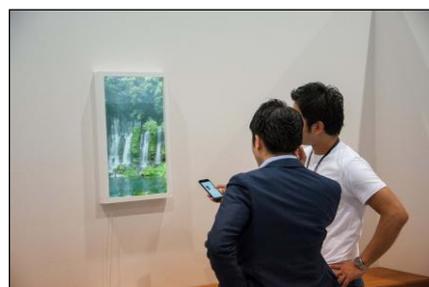
東京 and factory(株)の協力による、日本初 IoT デバイスと各家電が繋がる近未来の暮らしを再現した。



ARで昔の女積疎水を見る



体験ブースの受付



デジタル窓で好きな風景に！

2. 未来ブース

ロボットや、VR(仮想現実)・AR(拡張現実)・MR(複合現実)など、最先端の技術を集結させたブースを設置。



ペッパーでゲーム体験



ARゴーグルで仮想体験



最新技術MRゴーグル

3. 水素自動車 MIRAI の試乗体験

化石燃料を一切使わない究極の最先端エコカー「MIRAI」の試乗体験を福島トヨペットさんにご協力いただき、実施。



走り心地を体験！静かなエンジン音に感動！！

4. 食の開発 安積開拓丼のテスト販売

郡山市の特産品である「鯉」の天ぷらと「あさか舞」を盛り込んだ「安積開拓丼」を正月荘さんにご協力いただき、開発、両日とも完売した。



鯉の天ぷらが美味しい！！



正月荘の特別協力！！



大人気！長蛇の列に

5. 子供向けプレイコーナー“子ども王国”

タブレットによるお絵かきコーナーのほか、日本大学工学部の学生さんのご協力をいただき、スライム体験コーナーや空気砲実演を実施。



デジタルお絵かきコーナー



スライム作りを体験！！



空気砲に大喜び！

6. 姉妹都市物産展

姉妹・友好都市（熱海市、久留米市、つくば市、鳥取市、奈良市）が出展。



鳥取“砂らっきょ”に大行列！



本場の奈良漬け！



ミス熱海梅娘によるPR

7. 未来セミナーの実施

テーマ：AI ロボットが活躍する未来を考える

講師：ソフトバンク(株) 首席エヴェンジェリスト 中山 五輪男 氏

参加者：約 100 名



ペッパーがお出迎え！



講師の中山氏



AI が活躍する未来を語る！

8. 若手経営者・創業者 “イノベーション” ブース

郡山商工会議所青年部を中心とした若手経営者が集まってブースを出展。



フットサルは子ども達に大人気！



アニメグッズの販売！



桜のライトアップをPR！

9. 多彩な屋外ステージ

学生による様々なステージや、ダンス・音楽ショーで来場を盛り上げた。



帝京安積高校 太鼓パフォーマンス



アンパンマンショーは大人気！！



学生によるファッションショー

10. ファーマーズマーケット in こおりやま産業博

地元生産者農家の野菜や果物などを販売。



取れたて野菜は大人気！



JA 女性部によるとん汁！



地元の美味しい食が並ぶ

11. 来場者プレゼントとお楽しみ抽選会

ブランド野菜「布引大根」を来場者プレゼントで用意。

アンケートに答えると、豪華景品が当たる抽選会を実施。



アンケートに答えて抽選会に参加！



先着 400 名様に大根プレゼント！



景品を求め、大行列！！

12. 鉄工組合によるコーヨースクール

「現代の名工」浜津さんによる溶接のデモンストレーションを実施。



溶接デモンストレーション！



子どもも体験できます

広報関連

■ 新聞記事

・ 民報新聞



・ 民友新聞



民報新聞 全3段広告



民友新聞 全3段広告

■ TV-CM・ラジオ関連



■ フリーペーパー関連



福島リング新聞 全3段広告



福島リング新聞 記事



ARUKU 1/2 広告

新聞関連

- 福島民報・・・5/30、6/20、9/7、9/27、9/28、10/3、10/4、10/5、10/6、10/8、10/9、10/10、12/12、1/12
- 福島民友・・・5/28、6/9、9/8、9/27、10/3、10/4、10/5、10/8、10/9、1/12、1/18
- 朝日新聞・・・1/18
- 河北新報・・・1/30

TV-CM・ラジオ関連

■ TV-CM (期間 9/26～10/8)

- 福島テレビ・・・25本
- 福島中央テレビ・・・17本
- 福島放送・・・25本
- テレビユー福島・・・25本

■ ラジオ-CM (期間 9/26～10/8)

- ふくしまFM・・・30本
- ラジオ福島・・・38本

フリーペーパー関連

- 福島リング新聞・・・9/17、9/24
- aruku 出版・・・10/1号

その他

広報こおりやま、街こおりやま、郡山商議所会報など、多数掲載

■公式HP・SNS関連

公式HP



Facebook



Instagram



■出展案内・イベント告知等 制作物関連

出展募集チラシ



表



中

制作物関連

出展募集チラシ・・・ 14,000部

DM用ハガキ・・・ 50,000部

セミナーチラシ・・・ 10,000部

開催チラシ・・・ 180,000部

主な配布先 新聞折り込み、小中学校、公共施設、
本宮・須賀川・田村市の小中学校、
金融機関など

ポスター・・・ 1,000部

当日パンフ・・・ 10,000部

DM用ハガキ



セミナーチラシ



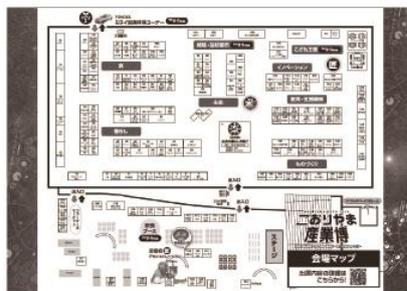
開催チラシ



当日パンフレット



表



中

Ⅲ.会議関係

1. 実行委員会

- 日 時：平成 28 年 5 月 27 日（金）10:00～
- 場 所：郡山商工会議所 6 階「ホールA」
- 出席者：60 名
- 議 題：第 1 号議案 実行委員会 規約・委員委嘱 承認の件
第 2 号議案 実行計画・収支予算 承認の件



2. 出展者説明会

- 日 時：平成 28 年 9 月 5 日（月）15:40～
- 場 所：郡山商工会議所 6 階「ホール」
- 出席者：162 名
- 議 題：（1）出展の手引き・出展確認調査書の件
（2）内覧会・名刺交換会の件
（3）来場者抽選会・出展 P R の件
（4）商談会の件
（5）広報ツールの件



3. 担当者会議・ワーキング会議

(1) 担当者会議

→運営本部事務局による運営会議を実施。

- 日時：平成 28 年 5 月 18 日
- 6 月 23 日
- 12 月 15 日
- 平成 29 年 3 月 21 日



(2) ワーキング会議

①出展・会場管理班 ワーキング会議

→会場レイアウトや開会式の運営を議論

- 日時：平成 28 年 7 月 5 日
- 7 月 21 日
- 8 月 19 日
- 9 月 26 日

②特産品・6次化商品班 ワーキング会議

→商品開発や飲食ブースの運営を議論

- 日時：平成 28 年 7 月 5 日
- 7 月 25 日
- 8 月 19 日
- 9 月 26 日



③イベント・広報班 ワーキング会議

→広報関係・ステージイベント運営を議論

- 日時：平成 28 年 7 月 11 日
- 8 月 2 日
- 8 月 26 日
- 9 月 29 日

④企業内覧会・商談会班 ワーキング会議

→内覧会・商談会の運営を議論。

- 日時：平成 28 年 7 月 11 日
- 8 月 2 日
- 8 月 26 日
- 9 月 29 日



郡山「産業博」10月開催

ビッグパレット 期間3日間に拡大



「こおりやま産業博」の開催概要を決めた実行委員会

未来の生活、紹介

グルメや6次化商品直売

郡山市の産業や観光的にPRするイベント「こおりやま産業博」

郡山市の産業や観光的にPRするイベント「こおりやま産業博」は、農産物などを一体「こおりやま産業博」KORIYAMA EXPO 2016として、十月七日から九日まで、三日間、郡山市のビッグパレット（くし）まで開かれる。二十七日、市内の郡山商工会議所会館で開かれた実行委員会の会議で決めた。

産業博は市、郡山商工会議所、郡山地区商工会、広域協議会、JA福島さくらでつくる実行委員会の主催。昨年、続いて二回目の開催。

「Innovation To The Next」をテーマに、未来への「トビラ」をテーマに新たなビジネス創造に向け、来場者が未来を見て、体験できる産業見本市を目指す。「猪苗代湖・安積疏水・安積開拓」の紹介、郡山グルメの実演販売、市産農産物のホストタウン登録、JA福島さくら合併をそれぞれ記念して開く。

開催期間を昨年の二日間から三日間に拡大し、平日の金曜日には、平日の金曜日には企業間取り引き促進に向け、企業を対象に内覧会を開催。

「Innovation To The Next」をテーマに、未来への「トビラ」をテーマに新たなビジネス創造に向け、来場者が未来を見て、体験できる産業見本市を目指す。開催期間を昨年の二日間から三日間に拡大し、平日の金曜日には企業間取り引き促進に向け、企業を対象に内覧会を開催。

「Innovation To The Next」をテーマに、未来への「トビラ」をテーマに新たなビジネス創造に向け、来場者が未来を見て、体験できる産業見本市を目指す。開催期間を昨年の二日間から三日間に拡大し、平日の金曜日には、平日の金曜日には企業間取り引き促進に向け、企業を対象に内覧会を開催。

H28.05.30. 民報

郡山 10月の産業博

出展企業、団体を募集

郡山市の産業や観光、農産物などを一体的にPRする産業見本市「こおりやま産業博」KORIYAMA EXPO 2016は十月七日から九日までの三日間、郡山市のビッグパレット（くし）まで開かれる。実行委員会はイベント当日にブース出展する企業、団体を七月十五日までに募集している。

実行委

郡山市の産業や観光、農産物などを一体的にPRする産業見本市「こおりやま産業博」KORIYAMA EXPO 2016は十月七日から九日までの三日間、郡山市のビッグパレット（くし）まで開かれる。実行委員会はイベント当日にブース出展する企業、団体を七月十五日までに募集している。

販路開拓に活用を



産業博へのブース出展を呼び掛ける関係者

にした内覧会や一般向けの展示・即売会で企業の事業内容を紹介したり、商品販売したりする。企業対象の内覧会に出展すると、県内外の百貨店・スーパーなどのバイヤーによる個別商待できるため、販路開拓に活用を。

談会に参加できる。郡山グルメや特産品、六次化商品を販売するブースもある。実行委員会は、イベントの集客に向け、さまざまな広報を展開する。配布するチラシやパンフレットで出展者を紹介し、会場内のステーションでPRする機会も提供する。幅広い来場者が期待できるため、販路開拓に活用を。

どの効果が見込める。郡山グルメや特産品、六次化商品を販売するブースには屋外飲食の二種類がある。それぞれ出展料が必要。問い合わせや申し込みは郡山商工会議所 電話024(922)2620へ。ホームページでも申し込みができる。

産業博は市、郡山商工会議所、郡山地区商工会、広域協議会、JA福島さくらでつくる実行委員会の主催。昨年に続いて二回目の開催。入場無料。

「Innovation To The Next」をテーマに、未来への「トビラ」をテーマに新たなビジネス創造に向け、来場者が未来を見て、体験できる産業見本市を目指す。開催期間を昨年の二日間から三日間に拡大し、平日の金曜日には企業間取り引き促進に向け、企業を対象に内覧会を開催。

「Innovation To The Next」をテーマに、未来への「トビラ」をテーマに新たなビジネス創造に向け、来場者が未来を見て、体験できる産業見本市を目指す。開催期間を昨年の二日間から三日間に拡大し、平日の金曜日には、平日の金曜日には企業間取り引き促進に向け、企業を対象に内覧会を開催。

H28.06.20. 民報

産業博

見て 触れて



▲ さつ すぎる 過 副 会長

10月7日開幕

商工農、観光を紹介

実行委 3日間で2万人超目標

郡山市の商、工、農、観光業を一堂に紹介する「こおりやま産業博」は10月7日から3日間、同市南のビッグパレットふくしまで開かれる。27日に開いた実行委員会（会長・丹治一郎郡山商工会議所会頭）で事業計画を決めた。

昨年9月に続き、2回目。を繰り広げる。初日の10月7日に企業内覧会を開き、8、9の両日に一般公開する。

「未来の暮らしを体験できる展示、ご当地グルメの実演販売、日本遺産に認定された安積疎水などの観光PR、学生らによるステージ

テーマは「イノベーション・トゥ・ザ・ネクスト」拓こう未来へのトビラ。新たなビジネスに向けて来場者が未来を見て体験できる産業見本市を目指す。前回の来場者数は約1万7千人だったが、今回は2万人超を目標とする。日本遺産

認定と東京五輪でのオランダ・ホストタウン登録、JA福島さくら発足を記念しての開催。

会議には、委員ら約70人が出席した。副会長の過足満雄郡山商議所会頭が「見て触れて体験できる事業とし、市を挙げた産業見本市にしたい」とあいさつした。

議事では、事業計画のほか、市と同商議所、郡山地区商工会広域協議会、JA福島さくらを中心とする実行委の組織と予算などを承認した。

H28.05.28. 民友

・ 情報スクランブル ・

■第103回ホールコンサート
10日午後0時15分から、市役所本庁舎1階で。

シンガー・ソングライターの辻村結實子さんが出演し「シアワセノカケラ」「おくりもの」「瑠璃色の地球」などの曲を披露する。入場無料。時間は30分程度の予定。

■「こおりやま産業博」出展者募集 郡山市、郡山商工会議所、郡山地区商工会広域協議会、JA福島さくらでつくる「こおりやま産業博」実行委は7月15日まで募集している。

出展料は屋内ブースで一般が2万1600円（税込み）、会員が1万6200円（同）、屋外飲食ブースで一般が2万7千円（同）、会員2万1600円（同）。出店申込書に必要事項を明記の上、同商議所に申し込む。同産業博は10月7日から3日間、同市のビッグパレットふくしまで開かれる。

問い合わせは郡山商議所中小企業相談所産業振興課（電話921・2620）へ。

H28.06.09. 民友

出展申込者 200団体

来月の「こおりやま産業博」

初開催昨年上回る

十月に開催される「こおりやま産業博」KORIYAMA EXPO 2016」のブースへの出展申込者は約二百団体となり、初開催だった昨年の約百八十団体を上回る見通しとなった。五日、実行委員会が郡山市の郡山商工会議所会館で出展希望者向けの説明会を開いた。

実行委説明会

説明会には約百六十人が出席した。出展の手引や、内覧会・名刺交換会、商談会などについて担当者が説明し

た。産業博は郡山市の産

業や観光、農産物などを一体的にPRする産業見本市。十月七日から九日まで、市内のビッグパレットふくしま

で開く。入場無料。

「Innovation To The Next」拓こう。未来への「トビラ」をテーマに、新たなビジネス創造に向け、来場者が未来を見て、体験できるイベントを目指す。

市郡山商工会議所、郡山地区商工会広域協議会、JA福島さくらでつくる実行委員会の主催。

る」は五日、郡山市の郡山商工会議所会館で産業博の出展者説明会に先立ち開かれた。産業博をはじめとした展示会の有効活用方法を専門家が伝授した。

産業博の出展者をはじめ、展示会出展に関心がある企業や団体関係者ら約百二十人が来場した。



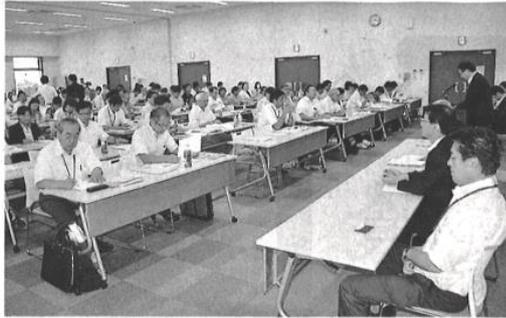
展示会の活用方法などを説明する西村さん

顧客獲得へ有効

郡山商工会議所のセミナー「おっ」と興味をひきつける失敗しない展示会の勘どころ

小規模事業者中心にコンサルティング活動を展開しているオフィスにしむら代表の西村秀幸さんが講師を務めた。西村さんは、来場者の目を引き、印象に残るブース内の展示方法をはじめ、顧客を取り込むための名刺交換、サンプリの用意、商談の方法などを紹介した。

来場者は産業博などで一人でも多くの顧客を獲得する手法を学ぼうと、真剣な表情で話に耳を傾けていた。



産業博の出展方法などを示した説明会

出展予定者らセミナー



こおりやま産業博のスケジュール
などを示した説明会

産業博成功へ一丸

出展企業説明会

郡山市の商、工、農、観光業の魅力を結集して10月7日から3日間、200事業者が参加し同市のビッグパレットふくしまで開かれる「こおりやま産業博」の出展者説明会は5日、同市の郡山商工会議所会館で開催された。出展企業の関係者が産業博成功を誓った。

ケジュールなどを説明した。産業博は市、同商議所、郡山地区商工会広域協議会、JA福島さくらでつくる実行委の主催。新たなビジネスに向けて来場者が未来を見て体験できる産業見本市を目指す。

当日は、多くの機器がインターネットでつながる「モノのインターネット(IoT)」を活用した日本初のIoTホテルを会場に再現した未来の暮らし体験コーナーや、トヨタ自動車

が発売した燃料電池車「MIRAI(ミライ)」の試乗体験、郡山北工高が世界大会で入賞した機器やアプリ紹介など多彩なイベントを繰り広げる。問い合わせは同商議所産業振興課内の同実行委事務局(電話921・2620)へ。

ポイントを話す
西村代表





「こい」を「コイ人」を募っている。

こけし
▽郡山市で
十月七日から
三日間開かれ
る産業見本市
「こおりやま産業博」の
実行委は会場で売り出す
「安積開拓井」を開発し
た「写真」。

る考え。

▽開発を担当
した同市の正
月荘社長の鈴
木正二さんは
「コイの魅力
を一層広めたい
」と賛同する「
コイ人」を募っ
ている。

メニューを説明する鈴木さん（左）



こおりやま産業博実行委 「安積開拓井」を試食

コイてんぷら名物に

十月七日から三日間、郡山市のビッグパレットふくしまで開かれる産業見本市「こおりやま産業博」の実行委は二十六日、市内の郡山商工会議所会館で特産品・六次化商品班の打ち合わせ会を開き、イベント会場で売り出す「安積開拓井」を出席者が試食した。

8、9日 100食限定販売

安積開拓井は、日本遺産に認定された安積開拓事業にちなみ、安積疎水が育んできた地元特産のコイをはじめ、コメ、野菜の大葉とカボチャを素材に作った天丼。コイは二度揚げをして、ふっくらと柔らかく仕上げ、さっぱりとした味わいが特徴だ。日本料理では、コイの調理法として、揚げたりてんぷらにしたりするのは例がない

安積開拓井は、日本遺産に認定された安積開拓事業にちなみ、安積疎水が育んできた地元特産のコイをはじめ、コメ、野菜の大葉とカボチャを素材に作った天丼。コイは二度揚げをして、ふっくらと柔らかく仕上げ、さっぱりとした味わいが特徴だ。日本料理では、コイの調理法として、揚げたりてんぷらにしたりするのは例がない

イベントが一般公開される八、九の両日午前十時半から、一日当たり百食限定で五百円（税込み）で販売する。イベント終了後は郡山市を全国に発信する料理として、希望する飲食店にレシピを提供して名物料理に育てる。メニューを開発した市内の日本料理店「正月荘」の社長、鈴木正二さんは、コイ料理の

盛んなハンガリーの調理法をヒントに、コイのてんぷらを思いついたという。「誰にでもおいしく食べられるような料理を目指した。多くの店で提供してもらいたい」と話した。試食では関係者が安積開拓井を味わい、感想などを話し合った。鈴木さんが開発までの経緯や、コイを取り巻く情勢などを説明した。

コイなどを使って開発された「安積開拓井」



「安積開拓丼」が完成

9



コイやあさか舞など郡山の魅力を詰めた「安積開拓丼」。10月8、9日の「こおりやま産業博」で販売。ふっくらとした食感が特徴。1日100食限定、500円。

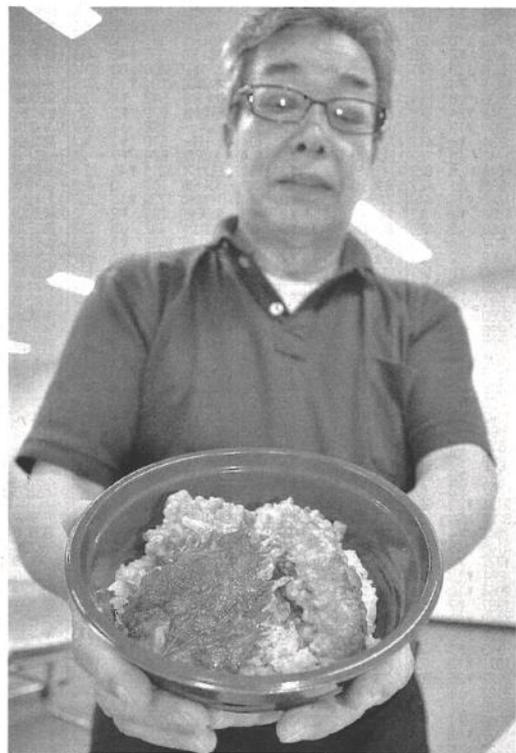
H28.09.27. 民友

あさか舞 + コイ天 = 安積開拓丼 完成

「コイの生産から加工、流通、販売までを手掛ける6次化事業」に恋する郡山プロジェクト」推進に向け、市内の飲食店「正月荘」が考案した。

安積疏水が育んだ郡山市産米「あさか舞」やコイなど郡山の魅力を詰め込んだ天丼「安積開拓丼」の試作品が26日、関係者に披露された。10月8、9の両日、同市のビッグパレットふくしまで開かれる「こおりやま産業博」で販売する。

「郡山のおいしい」丼で競演



産業博の実行委から委託された正月荘の鈴木正二社長(68)が、郷土料理としてコイを食べるハンガリー駐日大使館のシェフからコイをフライにする調理法を学び取り入れた。天ぷらにするとコイの臭みがなくなり、柔らかくふっくらとした食感が楽しめるという。井には郡山産力ボチャや大葉も入れた。産業博では、安積疏水や安積開拓など日本遺産に選ばれた郡山市をPRする考えだ。レシピは今後、同産業博のホームページ

8、9日 産業博で販売へ

①コイなど郡山の特産を詰め込んだ安積開拓丼②郡山の特産を詰め込んだ安積開拓丼を試食する関係者

で公開する。郡山市は全国有数のコイの産地だが原発事故後は生産量が低迷。市は産地復活に向けてコイを使った商品開発を進めている。鈴木社長は「コイを幅広い年代に気軽に味わってもらいたい」と話している。1日100食限定で販売する。1食税込み500円。問い合わせは郡山商工会議所内のこおりやま産業博実行委事務局(電話024・921・2620)へ。



H28.09.27. 民友

活躍するかAIロボ

初日は「未来セミナー」

あす開幕 こおりやま産業博

地方との関わり探る

七日に開幕する「こおりやま産業博」のプログラムの一つ、「未来セミナー」は七日午後二時から郡山市のビッグパレットふくしま



未来セミナーをPRする関係者

「AIロボットが活躍する未来を考える」をテーマに開かれる。産業博実行委員会の主催。ソフトバンクの首席エヴァンジェリスト（伝道師）の中山五輪氏が講師を務め、ロボットやAIなどの先進技術がどのような世界をつくりだしていくのか、地方としてどのような関わり方ができるか、その可能性などについて話す。

受講無料。定員百人。当日参加可能。問い合わせは郡山商工会議所

電話024(921)2620へ。

H28.10.06.民報

7日から「こおりやま産業博」

郡山市の商業、工業、観光、農業などを一体的にPRする産業見本市「こおりやま産業博」は七日、市内のビッグパレットふくしまで開幕する。七日は企業向け内覧会、一般

公開は八、九の両日。新たなビジネス創造に向け、来場者が未来を体験できる。さまざまな企画を繰り広げる。入場無料。



こおりやま産業博をPRするポスター

福島民報社などの後援。未来の暮らしを提示する企画として、スマートホテルの部屋を会場に再現。家電などさまざまな機器が

連携する「モノのインターネット（IoT）」の最先端機器を駆使した部屋を通して近未来のデジタルライフを体験できる。

実行委が開発した新メニュー「安積開拓販売」。日本遺産に認定された安積開拓事業に技術や事業を紹介する

「こおりやま産業博」は七日、市内のビッグパレットふくしまで開幕する。七日は企業向け内覧会、一般公開は午前十時から午後四時まで。問い合わせは実行委員会事務局 電話024(921)2620へ。

新ビジネスへ体験企画

H28.10.05.民報

郡山市の商、工、農、観光業の魅力を発信する「こおりやま産業博」は7日から3日間、同市のビッグパレットふくしまで開かれる
写真。

産業博は市、郡山商工会議所、郡山地区商工会広域協議会、JA福島さくらでつくる実行委の主催。テーマは「イノベーション・トゥ・ザ・ネクスト」拓こう未来へのトビラ」。新たなビジネスに向けて、来場者が未来を見て体験できる産業見本市を目指す。

7日は企業間取引を促進する企業内覧会が開かれる。8、9の両日は、一般公開が行われる。多くの機器がインターネットでつながる「モノのインターネット

こおりやま産業博 7日開幕

8、9日「**未来**」見て体験
一般公開

ト（IoT）を活用した多彩なイベントを繰り広げ日本初のIoTホステルを。会場に再現した未来の暮らし体験コーナーや、トヨタ自動車が発売した燃料電池車「MIRAI（ミライ）」の試乗体験、郡山北工高が世界大会で入賞した機器やアプリ紹介などを行う。このほかファーマーズマーケットや姉妹都市物産展など

7日は、未来セミナーA「ロボットが活躍する未来を考える」が開かれる。ソフトバンク首席エヴァンジェリストの中山五輪男さんが講師を務める。安積疏水が育んだ郡山市産米「あさか舞」やコイなど郡山の魅力を詰め込んだ天丼「安積開拓丼」を8、9の両日、販売する。一日100食限定で、1食税込み500円。入場無料。問い合わせは同商議所産業振興課内の同実行委事務局（電話024・921・2620）へ。



620）へ。



住宅の3D画像を仮想現実で体験する来場者

郡山で「産業博」開幕

あすまで 技術や事業紹介

郡山市の商業、工業、観光、農業などを一体的にPRする産業見本市「こおりやま産業博」KORIYAMA EXPO 2016「は七日、市内のビッグパレットふくしまで開幕した。七日は企業向け内覧会で、八、九の両日は一般公開する。新たなビジネス創造に向け、来

場者が未来を見て体験できる、さまざまな企画を繰り広げている。市、郡山商工会議所、郡山地区商工会広域協議会、JA福島さくらでつくる実行委の主催。福島民報社などの後援。市内の多数の企業などが技術や事業を紹介する展示をしている。「モノのインター

ネット」(IoT)の最先端機器を駆使した宿泊施設が再現され、家の間取りの図面を3D化した画像を専用ゴーグルを使い仮想現実(VR)で体験できる展示もある。

八、九両日の一般公開では、実行委が開発した新メニュー安積開拓井を披露。安積疏水が育んできた地元特産のコイなどで作った天丼で、両日とも午前十時半から一日百食限定で販売する。他にも多くのご当地グルメも味わえ、ステージイベントも催す。入場無料。八、九の両日は午前十時から午後四時まで。問い合わせは実行委事務局 電話024(921)2620へ。

産業博でショー

郡山の今泉女子専門学校 きょう

七日に郡山市のビッグパレットふくしまで開幕した「こおりやま産業博」で、今泉女子専門学校は八日午後一時からステージイベントでファッションショーを実施する。六日、市内の同校でリハーサルに臨んだ。

同校は、一般公開される八、九の両日のうち初日に登場する。産業博のテーマに合わせ



ファッションショーの練習に臨む生徒

大会で活躍した郡山北工高のロボットなどのデモンストレーションを披露する。アンパン

マンショー、ご当地アイドル「せせらぎ小町」ライブなどもある。産業博は七日から九

日まで三日間、郡山内覧会だった。一般公開は八、九の両日となり、時間は午前十時から午後四時まで。入場無料。市、郡山商工会

議所、郡山地区商工会広域協議会、JA福島さくらでつくる実行委員会主催、福島民報社などの後援。

「おひやま産業博」開幕

AIロボの未来考える

「おひやま産業博」が7日、郡山市のビッグパレットふくしまで始まった。企業間の取引を促進する企業内覧会やセミナーが開かれ、関係者が郡山の産業に理解を深めた。9日まで、8、9の両日は一般公開される。

市、郡山商工会議所、郡山地区商工会広域協議会、AIロボットが活躍する未来について話す中山さん



J A福島さくらでつくる実行委の主催。テーマは「イノベーション・トウ・ザ・ネクスト」拓こう未来への「トビラ」。

一般公開の時間は午前10時〜午後4時。多くの機器がインターネットでつながる「モノのインターネット（IoT）」を活用した日本初のIoTホテルを会場に再現した未来の暮らし体験コーナーやトヨタ自動車が発売した燃料電池車「M

IRAI（ミライ）」の試乗体験などが行われる。

初日の未来セミナー「AIロボットが活躍する未来を考える」では、ソフトバンク首席エヴァンジェリストの中山五輪男さんが、人型ロボット「Pepper（ペッパー）」の機能などを説明した。

入場無料。問い合わせは同商議所産業振興課内の実行委事務局（電話024・921・2620）へ。

H28.10.08. 民友

本番想定し手順を確認

きょう産業博 生徒らショー



リハサルでショーの手順を確認する生徒ら

ファッションショーを開く。ショーに先立って同校は6日、校内でリハサルを行い、本番を想定してショーの手順を確認した。

人が自らデザインし、手作りの衣装32点をモデルとなって披露する。秋にちなんだ衣装や近未来を表現した作品などをステージで発表する。

リハサルでは、生徒たちがそれぞれ衣装を身に着けながら、ステージでの動きなどを確認した。

郡山市大町の今泉女子専門学校（今泉玲子校長）は8日午後1時から、同市南のビッグパレットふくしまで「おひやま産業博」の

H28.10.08. 民友

IoT機器やドローン、水素自動車…

近未来の暮らし体験

きょうまで「こおりやま産業博」



IoTの機器を集結させた部屋に設置されたデジタル窓

七日に郡山市のビッグパレットふくしまで開幕した「こおりやま産業博」では、多数の市内の企業などがブースを設け、最新技術やものづくりの力を紹介している。七日は企業向け内覧会で、八、九の両日は一般公開されている。

未来の暮らしを提示する企画が盛りだくさん。家電などさまざまな機器が連携する「モノのインターネット」(IoT)の機器を集結させたスマートホテルの部屋を再現。スマートフォン一台でさまざまな機器を操作できる仕組みや、世界美しい風景などを映し出すデジタル窓など、来場者は近未来のデジタルライフを体験している。

AI(人工知能)の試乗体験、AI人工知能搭載人型ロボットPepperの展示など、未来を感じさせる企画を練り広げている。給排水衛生設備のワイ・エシニアリングは、配管を素材にしたオーダーメイドのユニークな家具を出品。照明やラック、テーブルなど、配管のプロならではの技術で作ったオリジナルブランドを



シミュレーターによるドローンの操作体験



配管を素材にした家具を紹介しているブース

紹介している。企業が商談などに訪れやすいように今回から平日にも開催。初日の金曜日の七日に催された企業向け内覧会の際には、商談などが盛んに行われていた。

主催、福島民報社などの後援。問い合わせは実行委員会事務局 電話024(921)2620へ。

「未来ゼミナール」が開かれ、ソフトバンクの首席エグゼクティブ(伝道師)の中山五輪氏が講演した。テーマは「AIロボットが活躍する未来を考える」。山中氏は、先進技術がどのような世界をくりだしているのか、地方としてどのような関わり方ができるか、その可能性などについて話した。



ブースで行われている商談

H28.10.09. 民報

「多彩な産業」一堂に

郡山きょうまで一般公開

郡山市のビッグパレットふくしまで開幕した「こおりやま産業博」KORIYAMA EXPO 2016は、八、九の両日に一般公開している。

七日に開幕し、商工業、観光などをPRする県内最大の産業見本市で、二百の企業・団体が商品、技術、サービスを紹介している。

郡山商高の生徒は地元食材を活用して開発した「郡商どら焼き」など三商品を販売して人気を集めていた。

多彩なステージショーをはじめ、子ども向け企画があり、家族連れらでにぎわっている。飲食コーナーでは、郡山特産のコイを使った「安積開拓丼」を、郡山地区商工会広域協



大勢の来場者でにぎわう会場。郡山商高生の開発商品が人気を集めた

H28.10.09. 民報

産業博見に来て

きょうまで

郡山市のビッグパレットふくしまで8日に一般公開が始まった「こおりやま産業博」では、市内の事業所など約200の団体がブースを出展。「イノベーション・トゥ・ザ・ネクスト」拓く未来へのトビラ」をテーマに各種イベントも開催され、商都郡山の産業の魅力をアピールしている。9日まで。

住宅間取り「3D」で

○…コンピュータシステム販売を手掛けるブリマックス(郡山市)は、住宅の間取りの図面を手書きすると、住宅の立体イメージ図が3D画像で確認できるシステムを紹介している。



睡眠中の心拍などを計測できる体動センサー

3D画像は、専用のゴーグルを使い、パソコンで見ることができると特徴。

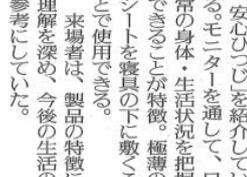
来場者は、こだわりのマイホーム実現に向けて、最新の家造り技術を学んだ。



住宅の間取り図を3Dで見ることができると好評

睡眠中の状況を把握する「ジェイアイ(郡山市)」は、睡眠中の心拍、呼吸、体動、離床を一度に計測できる機能を搭載した体動センサー「安心ひつじ」を紹介している。

来場者は、製品の特徴を理解を深め、今後の生活の参考にしていく。



来場者は、製品の理解を深め、今後の生活の参考にしていく。

来場者は、製品の理解を深め、今後の生活の参考にしていく。

来場者は、製品の理解を深め、今後の生活の参考にしていく。

来場者は、製品の理解を深め、今後の生活の参考にしていく。

来場者は、製品の理解を深め、今後の生活の参考にしていく。

会場に再現したIoTホテルを体験する来場者



「未来の暮らし」を体験

○…スマートフォン関連事業を手掛けるアンドファクトリー(東京)は、センサーなどあらゆる機器をインターネットにつなげる「IoT(モノのインターネット)」機器を活用した日本初のIoTホテルを、会場再現した。

IoTホテルは、スマートフォンのアプリを使い、鍵の開閉をはじめ、テレビなどを可能にして「未来の暮らし」を体験、最新技術を学んでいた。

タブレット端末を使いお絵かきに挑戦する子どもたち



描いた絵は印刷し、お面にしてプレゼント。子どもたちは保護者と協力して楽しんでいく。

子どもたちは、タブレット端末でお絵かきに挑戦。市のイメージキャラクター「がくとくん」など6種類のキャラクターを丁寧に描いている。



飲食ブースでは安積開拓井などが販売されている

郡山の「食」の魅力

○…飲食ブースでは、郡山の食をPRすべく安積開拓井(郡山市)が、天ぷらにしたコイは、やわらかくふくらとした食感が楽しめるという。

来場者は、天ぷら舌鼓を打ち、全国有数のコイの産地郡山の魅力も味わった。

来場者は、天ぷら舌鼓を打ち、全国有数のコイの産地郡山の魅力も味わった。

来場者は、天ぷら舌鼓を打ち、全国有数のコイの産地郡山の魅力も味わった。

来場者は、天ぷら舌鼓を打ち、全国有数のコイの産地郡山の魅力も味わった。

来場者は、天ぷら舌鼓を打ち、全国有数のコイの産地郡山の魅力も味わった。

来場者は、天ぷら舌鼓を打ち、全国有数のコイの産地郡山の魅力も味わった。

H28.10.09. 民友

「未来の暮らし」体験

ビッグパレットで産業博



ペッパーとの交流を楽しむ来場者

郡山市のビッグパレットふくしまで開催中の「こおりやま産業博」の一般公開が8日、始まり、約200事業所などが紹介する技術に注目が集まっている。

人型ロボット「Pepper(ペッパー)」との会話や小型無人機「ドローン」の操縦ゲームなど、来場者が「未来の暮らし」を体験している。多くの機器がインターネットでつながる「モノのインターネット(IoT)」を活用した未来の暮らし体験コーナーも登場した。

開会式が行われ、実行委員長の須佐喜夫会長職務代行副会長、品川萬里市長があいさつした。福島民友新聞社から菅野篤取締役郡山総支社長が出席した。

入場無料で、最終日となる9日は午前10時〜午後4時。問い合わせは同商議所産業振興課内の同実行事務局(電話024・921・2620)へ。

H28.10.09. 民友

地域の技 未来へ発信

こおりやま産業博 家族連れら楽しむ



開会式でテープカットする須佐副会長（右から2人目）ら



家族連れらが多く訪れた会場



人気商品が販売された食のコーナー

郡山市のビッグパレットふくしまで九日まで開催された「こおりやま産業博」KORIYAMA EXPO 2016」では、食や暮らしの「JAVIS」、未来などをテーマに地元の魅力発信、大勢の家族連れらが訪れた。

一般公開初日の八日に行われた開会式では、実行委員会の須佐喜夫会長職務代行副会長が「近未来の生活を体験できる博覧会で夢と活気あふれるまちづくりを目指す」とあいさつした。品川萬里市



世界大会で発表した技術を紹介する郡山北工高のコーナー



「たもるん」（左）とともに商品をPRする郡山商高の生徒

長、増子輝彦参院議員らとともにテープカットし開幕を祝った。佐藤研一福島民報社取締役郡山本社代表が出席した。

郡山北工高の生徒は、世界大会四年連続入賞の高い技術力を紹介し注目を集めた。尿糖検査器「赤ちゃん」の窒息事故防止装置をはじめ、三軸加速度センサーと特殊なタイヤを

用いた室内移動用の「Densuke」などを展示・実演した。大和田凌市さん(三年)は「技術を多くの人に知ってもらいたい世界に広めていきたい」と張り切っていた。

郡山商高のブースでは、渡辺彪雅さん(三年)らが地元食材を活用し開発した「郡商どら焼き」など三商品を販売。PR用に制作したゆるキャラ「たもるん」も登場し人気を集めた。

郡山自慢の食を発信するコーナーもあり、実行委が開発した新メニュー「安積開拓丼」には長蛇の列ができた。六十代男性は「コイがふっくらしていて、衣とたれとの相性も良くとてもおいしい」と満足そうだった。

アンパンマンショー、デジタルお絵かきコーナーなど子ども向けのイベントもあり、家族そろって楽しむ人が多かった。

郡山市の大関警備は来場者に防犯チェックシートを配り、日頃からの注意を呼び掛けた。家の周囲からの見通しが良いか、玄関の周囲は明るいかなど二十項目で、各家庭での防犯に役立ててもらった。



防犯チェックを呼び掛けた大関警備

郡山商議所青年部は初展した郡山商工会議所青年部のブース

郡山商議所青年部は初展した郡山商工会議所青年部のブース

コイを郡山市の魚に

市民有志が署名活動へ

郡山市の魅力発信しようとして、市民有志でつくる郡山再発見ラボ（橋本捨五郎代表）は、全国の市町村の中で生産量がトップのコイをアピールするため、「市の魚（下すゐ）に「鯉（コイ）」

市議会に求める署名活動を展開する。21日に、うすい百貨店前で街頭署名を行い、本格的な活動に着手する。

呼び込み、コイ料理でもてなして市内観光につなげよう企画した。「鯉の目」は「土用の丑の日」をイメージした。年内に1万人の署名を集め、請願書を提出したいとしている。

橋本代表は「コイは『恋』『来て』の言葉にも置き換えられ、市民に話題を提供して郡山の活性化に役立てたい」と話した。同団体は昨年4月に結成された。同市のコイは生産量だけでなく、食用コイで品質も国内トップクラスといわれる。安積疏水の水と、かつて盛んだった養蚕業に伴い、餌となる蚕のサナギが多く取れたことから、一大産地になったという。



17日から販売を開始する「恋する鯉丼」

「恋する鯉丼」17日から販売

郡山産コイの消費拡大を目指す郡山市は17日から市役所内の食堂「花かつみ」でコイの天ぷらなどをのせた「恋する鯉丼」を限定販売する。昨年10月のおおりのま産業博で提供された「安積開拓丼」をアレンジした天ぷらで、コイのほか、菜の花やハート形のニンジンなどの天ぷらなどが載っている。2月3日までの平日に1日20食を定食として販売する。価格は620円（税込み）で、営業時間は午前11時～午後3時。11日、同食堂で試食会が開かれ、品川萬里市長らが出来たてを味わった。鯉丼は市と県南鯉養殖漁業協同組合がキリン絆プロジェクトの支援で進める「鯉に恋する郡山プロジェクト」の一環。

H29.01.12. 民友

あぶくま抄

最近、郡山市で話題の料理に「安積開拓丼」がある。地元特産のコイの他、大葉、ヤーコンなどを素材にした天丼だ。市内の日本料理店の主が「誰にでもおいしく食べられるコイ料理を」と考案した。▼食べやすい大きさのコイの切り身を二度揚げする。ご飯の下まで染みわたるべらべら汁ゆをかける。天ぷらが揚がったら、丼つゆに「あぶくま抄」をのせて盛り付けのめ。あぶくまとは柔らかな食感が特徴だ。新メニューを広めようと郡山商工会議所は作り方を紹介している。近々、市役所の食堂でもお目見えする予定だ。

H28.12.12. 民報

鯉

売り込め 郡山市の「魚」制定や 井でPR活発化

安積疏水に生まれ...

安積開拓と安積疏水開削事業を巡る一連のストリーが日本遺産に認定されたのを契機に、疏水で育んだ郡山市特産の鯉（こい）を売り込む動きが市内で活発になっていく。

市民グループ「郡山再発見ラボ」は、市の魚と鯉の目制定に向けた街頭署名活動を21日に始める。1万人の署名を集めて市や市議会にるとともに、鯉の日に鯉料理を食べる習慣の地域として鯉の認知度を高め、定着を目指す。将来的に

郡山市役所の食堂で17日に発売される「恋する鯉丼」

取り組みに関するサミット開催なども計画する。市役所内の食堂「花かつみ」では17日から2月3日まで「恋する鯉丼」を二日限定20食で販売する。昨年10月の産業博で「こおりやま産業博」を契機に誕生した「安積開拓丼」を基に食堂を運営する市内の福豆屋がアレンジした。甘めに味付けした鯉やハート形のニンジンなどの天ぷらを市ラ

ボンド米「あさか舞」の上のせた。価格はドリンクなどとセットで六百二十円（税込み）。市議有志は十一日、市内の「都寿司 西屋」の協力で鯉のすしを試食した。一般向けに提供できなかに検討する。郡山再発見ラボの橋本捨五郎代表は「日本遺産認定で県内外から多くの誘客が見込める。郡山の鯉を世界に発信したい」と意気込んでいる。署名に関する問い合わせは郡山再発見ラボ 電話090(23366)3130へ。

H29.01.12. 民報

こおりやま産業博実行委員会名簿

【順不同・敬称略】

番号	役職	名前	所属	役職
1	会長	滝田 康雄	郡山商工会議所	会頭
2	副会長	渋谷 重二	郡山地区商工会広域協議会	会長（富久山町商工会長）
3	副会長	結城 政美	福島さくら農業協同組合	代表理事組合長
4	副会長	今泉 守顕	郡山商工会議所	副会頭
5	副会長	太田 健三	郡山商工会議所	副会頭
6	副会長	有馬 賢一	郡山商工会議所	副会頭
7	副会長	伊藤 清郷	郡山商工会議所	副会頭
8	運営本部長	佐々木 寛侑	郡山商工会議所	専務理事
9	委員	河治 勝一	片平町商工会	会長
10	委員	飯島 成一	喜久田町商工会	会長
11	委員	星 寅夫	熱海町商工会	会長
12	委員	渡邊 一利	逢瀬町商工会	会長
13	委員	宗像 正之	湖南町商工会	会長
14	委員	清水 正蔵	三穂田町商工会	会長
15	委員	山口 勇	安積町商工会	会長
16	委員	仲本 裕守	日和田町商工会	会長
17	委員	宗像 良三	中田町商工会	会長
18	委員	本田 豊実	西田町商工会	会長
19	委員	松崎 浩司	福島県中地方振興局	局長
20	委員	山田 理	福島県ハイテクプラザ	所長
21	委員	齋藤 隆	(公財)郡山地域テクノポリス推進機構	常務理事
22	委員	橋本 正一	(公財)郡山コンベンションビューロー	事務局長
23	委員	菅野 豊	郡山市観光協会	会長
24	委員	山口 哲蔵	郡山市観光物産振興協会	会長
25	委員	橋本 剛一	郡山市特産品づくり推進協議会	会長
26	委員	大野 勝久	郡山美味しい街づくり推進協議会	会長
27	委員	大槻 努	郡山高度情報化システム研究会	会長
28	委員	橋本 幸洋	(公財)福島県産業振興センター	理事兼福島県産業交流館館長
29	委員	出村 克宣	日本大学工学部	学部長
30	委員	岡部 隆	福島県立テクノアカデミー郡山	校長
31	委員	伊東 正司	(学)新潟総合学院 FSGカレッジリーグ	顧問
32	委員	橋本 裕	(公社)郡山青年会議所	理事長
33	委員	高橋 良和	郡山地区ハイヤータクシー(協)	理事長
34	委員	鈴木 幸雄	郡山市商店街連合会	会長
35	委員	橋本 半兵衛	郡山ホテル協会	会長
36	委員	重岡 純	日本貿易振興機構福島貿易情報センター	所長
37	委員	後藤 宏	東北電力(株)郡山営業所	所長
38	委員	渡辺 光浩	東日本旅客鉄道(株)郡山駅	駅長
39	委員	瀬谷 賢次	福島交通(株)郡山支社	常務執行役員郡山支社長
40	委員	吉田 いくよ	郡山商工会議所女性会	会長
41	委員	細谷 雄次	郡山商工会議所青年部	会長
42	委員	伊藤 恵子	郡山地区商工会女性部連絡協議会	会長
43	委員	薄井 康利	郡山地区商工会青年部連絡協議会	会長
44	監事	須藤 英穂	郡山商工会議所経営委員会	委員長
45	監事	川島 忠	郡山地区商工会広域協議会	田村町商工会長
46	監事	宗形 義久	福島さくら農業協同組合 郡山地区本部	本部長

47	参 与	阿 部 孝 一	郡山市保健所	所長
48	参 与	久 野 浩	郡山警察署	署長
49	参 与	杉 田 勝 典	郡山消防署	署長
50	参 与	佐 藤 研 一	(株)福島民報社	取締役郡山本社代表
51	参 与	菅 野 篤	福島民友新聞社(株)	取締役郡山総支社長
52	参 与	本 保 晃	日本放送協会福島放送局	郡山支局長
53	参 与	横 須 賀 信 雄	福島テレビ(株)	郡山総支社長
54	参 与	宮 下 忠 夫	(株)福島中央テレビ	営業局長
55	参 与	野 口 亨	(株)福島放送	専務取締役
56	参 与	安 藤 達 昭	(株)テレビユー福島	郡山支社長
57	参 与	松 本 良 市	(株)ラジオ福島	取締役郡山総支社長
58	参 与	稲 田 一 郎	(株)エフエム福島	代表取締役社長
59	参 与	石 塚 弘 人	福島リビング新聞社	常務取締役総括本部長兼郡山支社長
60	参 与	伊 藤 和	街こおりやま	編集長

◆運営本部

番号	役 職	名 前	所 属	役 職
1	運営本部長	佐々木 寛 侑	郡山商工会議所	専務理事
2	運営副本部長	佐 藤 和 雄	郡山市 産業観光部	部長
3	運営副本部長	寺 西 仁	郡山市 農林部	部長
4	運営副本部長	齋 藤 隆	郡山商工会議所	常務理事
5	運営副本部長	高 橋 昭 二	郡山地区商工会広域協議会	事務局長
6	運営副本部長	橋 本 剛 一	福島さくら農業協同組合 営農担当	常務理事
7	事務局長	福 内 浩 明	郡山商工会議所	常務理事兼事務局長
8	事務局次長	柳 沼 正 晃	郡山商工会議所 中小企業相談所	所長
9	事務局次長	浜 津 佳 秀	郡山市 産業観光部	次長
10	事務局次長	松 井 喜 夫	郡山市 農林部	次長
11	事務局次長	樋 口 晴 美	郡山市 農林部	次長
12	事務局次長	山 田 賢 一	福島さくら農業協同組合 営農経済部	部長
13	事務局次長	吉 田 金 一	郡山地区商工会広域協議会	事務局次長
14	事務局	馬 場 章 光	郡山市 産業観光部 産業政策課長	
15	事務局	相 楽 靖 久	郡山市 産業観光部 観光課長	
16	事務局	松 田 信 三	郡山市 産業観光部 産業創出課長	
17	事務局	村 田 和 哉	郡山市 農林部 農業政策課長	
18	事務局	清 野 浩	郡山市 農林部 園芸畜産振興課長	
19	事務局	源 後 忠 七	郡山市 農林部 林業振興課長	
20	事務局	渡 部 洋 之	郡山市 産業観光部 産業政策課長補佐	
21	事務局	鈴 木 孝 治	郡山市 産業観光部 産業政策課 産業振興係長	
22	事務局	前 林 利 文	郡山市 産業観光部 産業政策課 産業振興係	
23	事務局	青 木 健 太 郎	郡山市 産業観光部 産業政策課 産業振興係	
24	事務局	本 塚 善 幸	郡山市 産業観光部 観光課 観光開発係長	
25	事務局	長 嶺 恰 史	郡山市 産業観光部 観光課 観光開発係	
26	事務局	横 堀 孝 尚	郡山市 産業観光部 産業創出課 企業誘致係長	
27	事務局	齋 藤 純	郡山市 産業観光部 産業創出課 企業誘致係	
28	事務局	島 田 徹	郡山市 農林部 農業政策課長補佐	
29	事務局	草 野 哲 也	郡山市 農林部 農業政策課 農政企画係長	
30	事務局	柴 田 善 光	郡山市 農林部 農業政策課 農政企画係	
31	事務局	若 穂 困 豊	郡山市 農林部 園芸畜産振興課 6次化・輸出推進係長	
32	事務局	小 林 宇 志	郡山市 農林部 園芸畜産振興課 6次化・輸出推進係	
33	事務局	坂 本 朋 美	郡山市 農林部 林業振興課 林業振興係長	
34	事務局	本 田 恵 子	郡山市 農林部 林業振興課 林業振興係	
35	事務局	須 釜 正 晃	郡山地区商工会広域協議会 部長	
36	事務局	佐 治 誠 也	郡山地区商工会広域協議会 地域経済振興課長	
37	事務局	柳 沼 幸 雄	郡山地区商工会広域協議会 地域経済振興課長補佐	
38	事務局	国 分 昭	郡山地区商工会広域協議会 地域経済振興課長補佐	
39	事務局	和 田 利 雄	郡山地区商工会広域協議会 地域経済振興課 主幹	
40	事務局	黒 澤 和 枝	郡山地区商工会広域協議会 地域経済振興課長補佐	
41	事務局	熊 田 光 宏	福島さくら農業協同組合 営農企画課 課長	
42	事務局	伊 藤 幸 男	福島さくら農業協同組合 営農販売課 課長	
43	事務局	志 賀 真 一	福島さくら農業協同組合 経済課 課長	
44	事務局	佐 藤 た か 子	福島さくら農業協同組合 生活福祉課 課長	
45	事務局	山 田 剛	郡山商工会議所 中小企業相談所 産業振興課長	
46	事務局	宗 像 健 雄	郡山商工会議所 中小企業相談所 産業振興課係長	
47	事務局	勅使河原正憲	郡山商工会議所 中小企業相談所 産業振興課	
48	事務局	伊 藤 一 矢	郡山商工会議所 中小企業相談所 産業振興課	
49	事務局	佐々木 麻里	郡山商工会議所 中小企業相談所 産業振興課	